

報道関係者各位

2024年3月15日

水ing株式会社

「楕円板レーキ型ろ過濃縮機」が『建設技術審査証明』を取得／水ing エンジ

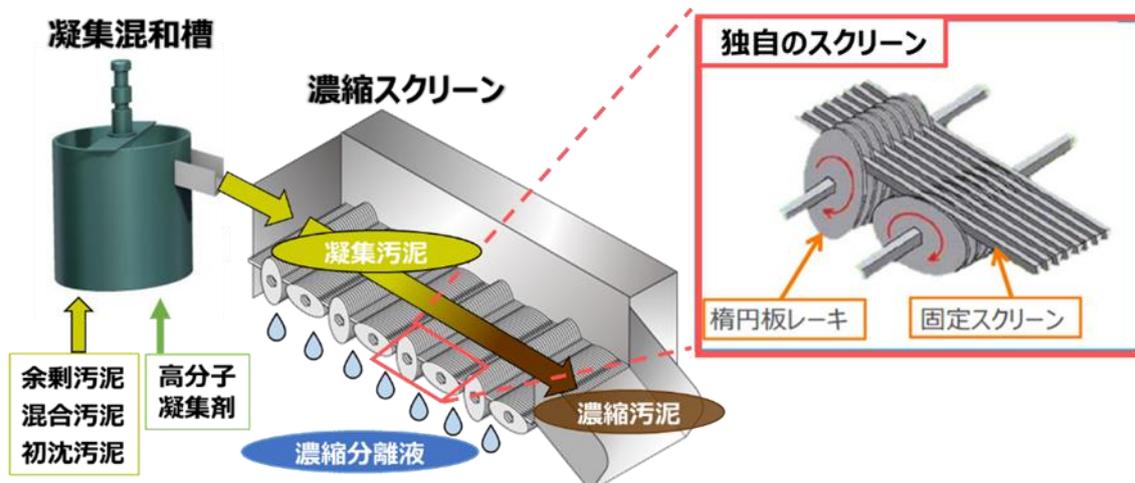
水ingグループの水ingエンジニアリング株式会社（社長：池口学、住所：東京都港区）は3月13日、下水道向け汚泥濃縮機「楕円板レーキ型ろ過濃縮機」が（公社）日本下水道新技術機構の『建設技術審査証明』を取得したことをお知らせいたします。

【開発の経緯】

現在主流の下水汚泥濃縮技術（機械濃縮、重力濃縮）にはそれぞれに特長がある一方、遠心濃縮機の省電力化、ベルト型ろ過濃縮機の省洗浄水化、重力濃縮槽の性状の変動に対する濃縮性能の安定化などのニーズがあり、それらに対応すべく「楕円板レーキ型ろ過濃縮機」を開発しました。

【本機の特長】

- ◇凝集混和槽で生成したフロックを固定スクリーンと楕円板レーキからなる独自のスクリーンにてろ過濃縮
- ◇楕円板レーキが低速回転（＝省電力）することで、汚泥の濃縮並びに搬送を行いながらスクリーンの目詰まりを防止するため、運転中の洗浄水が不要
- ◇初沈汚泥、余剰汚泥、混合汚泥のすべてに対して適用が可能



「楕円板レーキ型ろ過濃縮機」のイメージ図

水ingグループは、これからも水インフラに関わる技術開発等を通じて、地域の活性化に貢献してまいります。

査証明事業(下水道技術)交付式



交付式にて。

左から：日本下水道新技術機構 塩路勝久理事長 水ingエンジニアリング 塚本祐司取締役

